

教員による学校評価（自己評価）の集計結果と分析及び対策

四條畷学園小学校

平成23年度に実施した教員による学校評価（自己評価）の結果を報告します。

* 自己評価の実施について

- (1) 実施時期 平成23年11月
- (2) 調査対象 小学校本務教員
- (3) 評価項目 教育活動全般及び学校運営に係わる項目について自己評価を実施
- (4) 評価方法 各項目について5段階評価で実施
 - 5：強くそう思う（達成度80～100%）
 - 4：どちらかといえば、そう思う（達成度60～79%）
 - 3：どちらとも言えない（達成度40～59%）
 - 2：どちらかと言えばそうは思わない（達成度80～100%）
 - 1：まったくそうは思わない（達成度80～100%）

* 評価の重点目標

- ・建学の精神『報恩感謝』
- ・教育方針 個性の尊重・明朗と自主・実行から学べ・礼儀と品性
- ・平成23年度 小学校の目標
 - A 基礎学力の徹底
学習に自信を持たせるよう配慮し、意欲的態度や実行力の基礎養う。
 - B 個性の尊重
一人ひとりの興味関心を大切にし、だれにも自信を持たせる。
 - C 実行力の尊重
子ども自身の活動を重んじ、実行を助け、その結果を常に振り返るように指導する。
 - D 学習内容の精選
子どもの成長の糧となるもの、時代の要請に答えるべきものを見極め、「何をこそ学ばせるべきか」を熟慮探求する。
 - E 自律の手助け
「何を」「どの機会に」しつけるかを熟慮し、生涯にわたる自律の意識を育む指導を行う。
 - F 集団活動の充実
意識的に縦割り集団を組織したり、グループ活動を取り入れたたりして「みんなでいっしょに」「高学年を敬う」「低学年を育む」を常に考えさせる。

* 概評

本校では、保護者向けと高学年児童向けのアンケート項目をほぼ同じものにして、両評価の比較と検討を続けております。

また、教員に対する自己評価項目は、前年度に改良を加え、より具体的な内容に変更しております。学校が立てた目標に個々の教員がどの程度到達できたかを自己評価する形式です。

学習面についての集計では、「授業をよりよいものへと改善していこうとする教員の姿勢」に対して、教員、児童、保護者の評価向上が見えます。学習到達調査結果と照らし合わせますと、この教員の努力は一定の効果が現れていると考えられます。平成25年1月に全国に向けた公開研究会を予定しております。それに向けた教科、教材の研究を通じ、今後も継続的に授業力向上をめざします。

「情報発信に伴う責任など情報モラルの教育に取り組んでいる」「個々の児童に応じた希望・目標を実現させるよう進路指導や進路支援を行っている」という項目に関する教員の自己評価は前年度とかわらず、今後の課題であると考えます。引き続き、児童の進路相談・支援や情報モラルの充実に努力していく所存です。

また、躰面については、教員、児童の評価が向上しましたが、保護者の評価は前年並みでした。本校では躰の指針、「そつぎょうするまでに みんなが できるようになること」ポスターを全家庭に配布し同時に各教室に掲示することにより、つねにこの指針に立ちかえる指導を継続して行っております。指針を配布するようになって、本校の躰指導の考え方が保護者に伝わり、家庭と学校の連携のとれた指導が可能になりました。しかし、まだまだ教員、児童の思いと保護者の期待に差があることを痛感しております。今後はその成果が数値に表れるよう、継続して指導に当たります。

成績通知方法とその満足度の評価も、教員や児童の評価が向上し、保護者は前年並みの評価となりました。

本年度より、新しい形式の通知方法とその検証、学級通信・学年通信の見直しを教員に徹底し、児童、保護者の皆様の期待に応えることのできる統一のとれた成績通知をめざしております。より細やかな情報提供ができるよう、通知の内容、方法両面の改善をすすめ、保護者の方々の評価が向上するよう努めてまいります。

* 評価の集計と分析

1. 学校運営

評価の観点	評価項目	設問	
私学の独自性	建学の精神について	(1)建学の精神「報恩感謝」をよく理解し、それに基づいて教育を行っている	4.1
	教育方針について	(2)教育方針「個性の尊重・実行から学べ・明朗自主」をよく理解し、それに基づいて教育を行っている	4.4

教育課程	学習指導要領の対応状況について	(3)教育課程の編成は学習指導要領に沿っている	4.2
	教科の教育計画について	(4)年間を通じた教育計画を立て、指導している	4.5
教職員連携	教員・教科間の連携状況	(5)教育問題について教員間でよく話し合って教育活動が行われている	4.7
	会議の有効性	(6)職員会議・学年会議・委員会が、情報交換と検討課題の場として有効かつ効率的に機能している	4.4
財務関係	教育の充実	(7)私学経営の財務状況に関心を持ち、学園の発展を目指して教育活動の充実を図っている	4.0
情報公開	ホームページの活用状況	(8)学校HPに公開掲示板で可能な範囲の教育活動や情報を提供している	4.2
危機管理	危機管理対応状況	(9)緊急時に備え、訓練など学校の安全対策を十分にとっている	4.1

「学校運営に関する分析」

学校運営に関する項目は、総合評価 4.3 と評価は高いが、(7)の「私学経営の財務状況に関心を持ち、学園の発展を目指して教育活動の充実を図っている」という項目については、4.0 とやや低い。すべての項目についての充実を今後も継続して図っていく。

2. 教育内容

評価の観点	評価項目	設問	
教科指導	学習指導	(10)授業に創意工夫を行い、分かりやすく授業を行っている	4.3
	授業環境について	(11)児童の学習意欲を高め、学力を向上させる授業を実践している	4.3
		(12)授業を受ける基本的な態度・マナーを身につけさせて指導している	4.3
情報教育	情報モラル教育	(13)情報発信に伴う責任など、情報モラルの教育に取り組んでいる	3.7
人権教育	人権教育体制	(14)周囲の人を尊重し、よりよい人間関係を築いていく態度を養う教育を実践している	4.4
		(15)人権にかかわる様々な問題に関心を持ち、人権意識を高める教育を実践している	4.1
環境教育	実践的態度の育成	(16)自然を大切にすると環境を保全しようとする態度を育てている	4.2
保健教育	保健・健康に関する指導	(17)心身共に健康で安全な生活を送るための行動や態度を養っている	4.5

生徒会活動		(18)児童が主体的に活動できるように取り組んでいる	4.5
その他	読書推進	(19)読書タイムの実施・図書館の利用促進など 読書指導に取り組んでいる	4.5

「教育内容に関する分析」

(13)の「情報発信に伴う責任など、情報モラルの教育に取り組んでいる」項目が3点台と低い。ICT研究部を中心として教育ソフト・教材をさらに整備し、カリキュラムの拡充を図っていく。

3. 生徒指導・生徒支援

評価の観点	評価項目	設問	
生徒指導 生徒支援	生徒指導について	(20)生活の基本である時間を守るという指導を行っている	4.8
		(21)挨拶をはじめとして礼儀を重んじる生活態度を養う指導を行っている	4.7
		(22)生活面の規則・ルールを理解させ守らせている	4.4
		(23)児童に清掃、校内美化に取り組むよう指導している	4.2
	家庭との連携状況	(24)家庭と学校との協力と連携の下に生徒指導を行っている	4.3
	学習支援について	(25)学習の遅れている児童への支援を行っている	4.3
	カウンセリングマインド	(26)児童が抱えている問題に対して、一人ひとりを大切にしたいきめ細かい相談・指導を行っている	4.3
	進路指導について	(27)個々の児童に応じた希望・目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行っている	3.9
内部進学について	(28)内部進学を希望する児童には積極的に支援している	4.2	

「生徒指導・生徒支援に関する分析」

生徒指導は総じて評価が高い。中でも、各職員が意識して指導を心がけている「時間を守る指導」「挨拶・礼儀を重んじる指導」の項目の評価が高い。今後の課題として、「進路指導について」があげられる。

4. 教員研修・資質向上

評価の観点	評価項目	設問	
教員研修	教員の資質向上について	(29) 教員間で授業内容を評価したり、生徒指導のあり方等、指導方法について意見交換を行う機会がある	4.5
	校内研修	(30) 効果的な校内研修計画を立案し、計画的に教職員に研修を実施している	4.5
	研修成果の共有状況	(31) 研修・研究に参加した成果を他の教員に伝えて、情報を共有する体制が整理されている	4.5

「教員研修・資質向上に関する分析」

年間を通じて全職員が校内研究授業を行い、分析的な授業後協議会を持つことで、個々の指導力に向上がみられた。次年度も全国に向けた公開研究会を軸とした研修機会を設けて、教員の資質向上に努めたい。